

# 門司中学校 実践交流会

## 分散会 第4ブース

美術科 第2学年

単元名

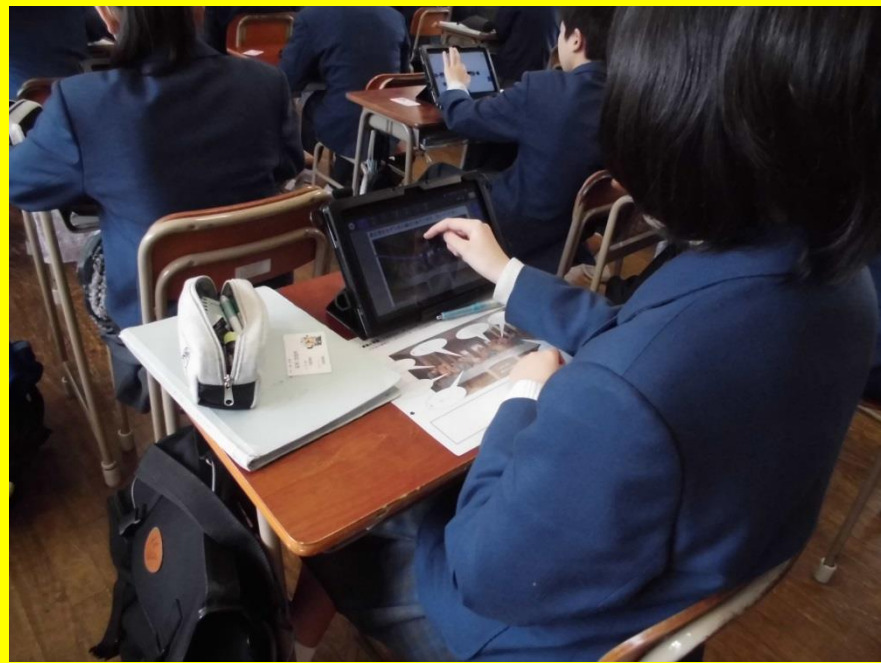
鑑賞：最後の晚餐

～ダ・ビンチの謎の仕掛けを発見しよう～

# 授業のねらい

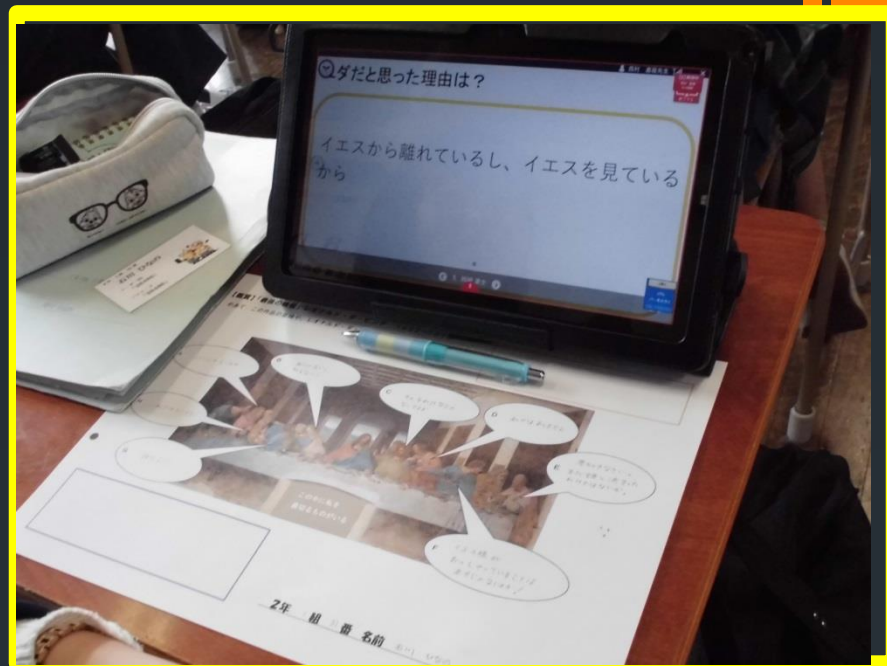
「最後の晩餐」の場面の意味やレオナルド・ダ・ビンチが意図した表現の工夫に気づき、新たな発見や見方ができる。また相互に自分の考えを発表することで、新たな価値観との出会いにつながる。タブレットを使うことで、作品の細部を拡大し、線を描きこむことで作品の工夫をより深く理解させたい。

# ICT機器の活用場面①



タブレットで作品を鑑賞するとき自由に拡大できるページを用意したので、細かな表現に気づく生徒が多く、鑑賞を意欲的に行うことができた。

# ICT機器の活用場面②



タブレット端末で提出した意見を全員で確認でき、  
様々な考えへの気づきや話し合い活動につながった。

# 生徒の反応

タブレットPCの操作に慣れている生徒が多く、スムーズに鑑賞の授業を行うことができた。

クラス全員の考えを同時に見ることで、考えの違いに気づき、話し合う場面が多く見られ、関心を持って鑑賞の授業に取り組むことができていた。

その一方で操作に不慣れな生徒も数名おり、意見の集約に時間がかかり、発表の時間が十分に取れない場面もあった。

# 成果と課題

## <成果>

教科書の画面だけでは、細部の表現がよくわからないが、タブレットPCを使うことで、詳細な表現を知ることができる。また自分が気になる部分を、自由に拡大することができるので、より臨場感のある鑑賞の授業を行うことができたと思う。特に遠近法を学ぶ場面では、画面に何度も線を引き直すことができるので一点透視法をしっかりと理解させることができた。

## <課題>

タブレットPCの操作を慣れさせることが一番の課題であると思うので、タブレットPCを使った角度の違う鑑賞の授業をより多く経験させ、生徒の表現活動に生かしていきたい。